



新眉山クラブ  
馬渡 光春  
議員

### ▼島原市の緊急経済対策について

Q これまでの緊急経済対策の実施状況とその効果はどうなっているのか。

A 総額約二十六億円の予算を編成し、執行している。内容は、農業用施設や道路、教育施設整備などの公共事業費に約六億八千万円、新規雇用約百名を創出する緊急雇用対策費に約八千万円、資金貸付預託金などの中小企業対策費に約一億七千万円、太陽光発電施設整備などの地球温暖化対策費に約一億三千万円、定額給付金や子育て支援などの生活対策に約十五億七千万円を計上している。また、島原管内の有効求人倍率は六月で〇・三五倍だったが、十月では〇・四四倍と増加している。十二月補正にも雇用対策予算を計上しており、引き続き地域経済の活性化に取り組んでいきたい。

Q 国の補正予算の執行停止や削減により、本市の緊急経済対策事業へ影響はあるのか。

A 本市予算に影響するものは二つの事業で、影響額は合わせて約一億円である。内訳は、子育て応援特別手当給付事業が全額

停止、農地有効利用支援整備事業が予算額に対して四割、事業費にして約五千二百万円が削減となっている。

Q 定額給付金の給付状況と経済効果はどうなっているのか。

A 給付状況は、給付対象世帯数が一万九千六百六十世帯で、約九十九%の一万八千九百五十一世帯が申請し、給付事業費の九十九・六%の七億七千八百三十八万八千円を給付している。経済効果を本市で調査することとは難しいが、長崎大学において県内総生産を約〇・一七%押し上げるとの試算があり、仮に〇・一七%の押し上げ効果を島原市の総生産に当てはめた場合、約二億二千六百万円の経済拡大効果ということになる。

Q プレミアつき「湧くわく商品券」事業の実施結果と効果はどうなっているのか。

A 四月二十日の販売開始以降、七月二十四日に二万セットを完売し、九月三十日に使用期限を終えたところである。登録店が市内に限定されており、商品券によって約二億二千万円が市内で消費され、新たな消費を喚起させた効果があったと思っている。

#### 【その他の質問項目】

- ◇有害鳥獣対策について
- ◇政治姿勢について



政策研究会  
松坂 昌應  
議員

### ▼有明海異変について

Q 堤防締め切り以降、有明海の潮流が弱くなっていることは知っているか。

A 諫早湾奥の潮流が遅くなっていると発表している研究者もいるが、現在、国において影響調査が実施されている。また、諫早湾干拓事業潮受け堤防排水門の開門調査のための環境アセスメントを来年から実施する予定と聞いているので、これを見守っていききたい。

Q 潮受け堤防に諫早水害のような場合の防災機能はないことは知っているか。

A 潮受け堤防で台風などによる高潮を遮断することにより、潮の干満に関係なく、調整池の水位を低く管理することで洪水時の排水解消が図られるとされている。

Q 調整池の仕組みと役割は何か。

A 調整池は北部排水門の約二百メートル、そして、南部排水門五十メートルと中央の常時排水ポンプ施設の操作により、水位をマイナスメートルに管理するようになっている。役割については、後背地の住宅や

農地の湛水被害を防ぐものである。

Q 金子知事の親族がこの干拓地に入植していることは知っているか。

A 当初役員として参画していることは聞いていたが、現在は役員を退いているというところである。

Q 短期開門調査で海はよみがえったことは知っているか。

A 一部の研究者には、そのようなことを言われている方もいるようであるが、総合的には解明されていないのではないかと思っている。

### ▼眉山トンネル中止見直しの声は無視するのか

Q 市民に対する説明責任はだれにあるのか。説明会は市がするべきではないのか。

A 本市が説明会を開いて、その結果の責任を負える立場になく、工事の責任者は国であるので、やはり国にお願いする立場にあると思っている。

#### 【その他の質問項目】

- ◇市庁舎懇話会は公開で！
- ◇管理職手当と役職加算について
- ◇島原版天下り等の検証